

平成28年度 平川市橋梁等定期点検結果

橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	架設年次	橋長	幅員	点検記録		
						点検実施 年度	橋梁全体の 判定区分	点検所見
平賀三号橋	ヒラカサンゴウバシ	町居広船線	1978	43	7.5	28	Ⅲ	腐食(支承)
葛川橋	クスカワバシ	葛川切明線	1976	39	7.1	28	Ⅱ	防食機能の劣化(塗装)
十六夜橋	イザヨイバシ	山神堂三笠山線	1967	63	6.3	28	Ⅱ	防食機能の劣化(塗装)
御蓮華橋	オレンゲバシ	久吉東碓ヶ関山線	1986	17	5.2	28	Ⅰ	
長瀬橋	ナガトロバシ	久吉東碓ヶ関山線	1987	43	5.2	28	Ⅱ	漏水・滞水
深沢橋	フカザワバシ	久吉東碓ヶ関山線	1986	19	5.2	28	Ⅰ	
十二滝沢橋	ジュウニタキサワバシ	久吉東碓ヶ関山線	1986	41	5.2	28	Ⅱ	ひび割れ(RC)
高滝沢橋	タカタキサワバシ	久吉東碓ヶ関山線	1985	18	5.2	28	Ⅰ	
延命橋	エンメイバシ	三笠山大落前線	1987	21	4.1	28	Ⅱ	はく離・鉄筋露出(凍害)
日暮橋	ヒグラシバシ	三笠山大落前線	1979	15	4.8	28	Ⅰ	
蛙橋	カワズバシ	三笠山大落前線	1973	20	4.7	28	Ⅱ	腐食(支承)
平賀一号橋	ヒラカイチゴウバシ	高畑熊沢沖館線	1978	51	5	28	Ⅱ	ひび割れ(RC)
板沢橋	イタザワバシ	碓ヶ関逆木西碓ヶ関山線	1967	45	4.7	28	Ⅱ	防食機能の劣化(塗装)
小落前川橋	コラクマエガワバシ	碓ヶ関小落前1号線	2002	25	5.2	28	Ⅰ	
堂の上橋	ドウノウエバシ	碓ヶ関古懸門前四戸橋線	1979	58	5	28	Ⅰ	
大面橋	オオツラバシ	碓ヶ関古懸大面不動沢岩渡1号線	1979	41	5	28	Ⅰ	
新田中橋	シンタナカバシ	碓ヶ関古懸門前屋岸清野沢線	1983	15	6.2	28	Ⅱ	ひび割れからの滲出(遊離石灰等)
古館橋	フルダテバシ	碓ヶ関古懸沢田館岸館ノ平線	1979	40	4.5	28	Ⅰ	
永野橋	ナガノバシ	碓ヶ関古懸大面不動沢岩渡2号線	1979	40	5	28	Ⅰ	
大平橋	オオダイラバシ	碓ヶ関久吉山岸線	1993	37	6.2	28	Ⅰ	
山岸橋	ヤマキシバシ	碓ヶ関久吉大平線	1969	37	2.5	28	Ⅲ	ひび割れ(RC)
岩淵橋	イワフチバシ	西碓ヶ関山線	1970	37	3.8	28	Ⅱ	はく離・鉄筋露出(凍害)
キツジ橋	キツジバシ	西碓ヶ関山国有林線	1962	16	4.7	28	Ⅱ	腐食(支承)
大森橋	オオモリバシ	西碓ヶ関山国有林線	1962	16	4.7	28	Ⅲ	腐食(支承)
二ノ渡橋	ニノワタリバシ	碓ヶ関船岡久吉東田線	1967	37	4.8	28	Ⅰ	
1号鍋子橋	イチゴウナベコバシ	久吉東碓ヶ関山1号線	1963	15	4.6	28	Ⅱ	防食機能の劣化(塗装)
2号鍋子橋	ニゴウナベコバシ	久吉東碓ヶ関山1号線	1963	15	4.7	28	Ⅱ	防食機能の劣化(塗装)
御仮屋橋	オカリヤバシ	碓ヶ関白沢2号線	1971	22	2.7	28	Ⅲ	ひび割れからの滲出(遊離石灰等)

各判定区分に対応した状態

区 分	状 態
Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。